

＜事業者の概要＞

- 所在地：島根県浜田市原井町907-2
- 代表者：代表取締役 河上 清志
- 主な品目：魚干物・缶詰・のどぐろ加工品等
- 主な輸出先国・地域：シンガポール、香港等
- 事業概要：主に浜田漁港で水揚げされた魚を加工し、国内百貨店や通信販売等、飲食店向けに干物や缶詰、フィーレ等の食材を販売。



寿司ネタ用ののどぐろのフィレ



ふぐ味噌干し

【輸出の取組内容】

- 2017年から国内商社を通じ、海外では馴染みのない高級魚の「のどぐろ」「ふぐ」などの新鮮な魚を使った干物の希少性・食べ方などを訴求し、富裕層を中心に魚の美味しさをPRし輸出。
- 2019年には日系飲食店や現地及び外資系の小売店等へ加工品（のどぐろ干物140kg、ふぐ干物400kg、缶詰600缶）を販売し、輸出額430万円を達成。コロナ禍前のPR活動が功を奏し、2024年の輸出額はコロナ禍前を上回る水準を達成。
- 2021年に東南アジアをターゲットに開催されたリモート商談会（主催：JETRO）を約20社と実施。バンコクの輸入業者と商談が成立し、日本食レストラン向けに、のどぐろフィレ60kg・その他干物70kgを輸出。さらなる販路拡大を目指して、シンガポール・香港を中心に現地との安定的な取引関係構築に取組む。

【取組経緯】

- 国内の魚消費の低迷・人口減少から販路拡大の一つとして輸出相談をJETROへ行った。
- 国・県等の参加費助成などを活用し、2017年～19年に香港など七都市で商談会・試食販売の取組みを始めた。

【課題と対応方法】

- 言語の違いによりのどぐろや干物の価値が伝わりにくい。
 - 展示会等に参加し、商品PRを輸入業者や飲食店シェフ等に行い、連絡を密に取ることで需要動向を収集。
 - リモート商談会では、写真・動画等の映像等を増やし、営業・フォローをきめ細やかに行うことで販路を開拓。
- 浜田産の原材料が不漁の為、積極的なPR活動が行えない。
 - 主力であるノドグロに代わる食材として、イカやフグを中心営業活動を行う。
 - ノドグロは浜田産に限定せず、他産地のものを加工することによって日本ブランドの付加価値を生み出す。

【今後の事業展開】

- シンガポール向けのふぐ味噌干しの輸出が好調なため、現地の飲食店でのPR等も検討し、さらに輸出量の増加を見込みたい
- 中東地域をターゲットに、現地の多様な食文化に対応すべく、魚食材の加工の仕方や味付けなどの好みを調査していきたい

【実績】

輸出額（万円）	輸出国・地域割合（%）
2022年 500	シンガポール 95
2023年 590	香港等 5
2024年 610	